

BladeSymphony

Virtage Navigator インストール手順書

Revision 3.01

HITACHI

重要なお知らせ

- ・本書の内容の一部、または全部を無断で転載、複写することは固くお断わりします。
- ・本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたら、お問い合わせ先へご一報くださいますようお願いいたします。
- ・本書に準じないで本製品を運用した結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

登録商標と商標について

Adobe、Adobeのロゴは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、およびWindows Vistaは米国Microsoft Corp.の米国および他の国における登録商標または商標です。

Java、JRE およびその他の Java を含む商標は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本マニュアル中の製品名および会社名は、各社の登録商標または商標です。

版権について

このマニュアルの内容はすべて著作権に保護されています。

このマニュアルの内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。

All Rights Reserved, Copyright (C) 2010, 2012, Hitachi, Ltd.

BladeSymphony Virtage Navigator

本資料は、BladeSymphony Virtage Navigator のインストール方法について説明します。

なお、本資料での「」は参照を表しています。

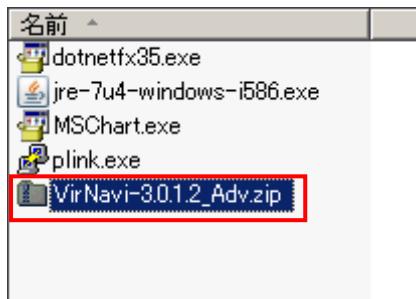
目次

1 Virtage Navigatorのインストール	2
2 前提アプリケーションのインストール	3
2.1 Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1	4
2.1.1 Windows Server 2008 R2、 Windows Server 2008 R2 SP1	4
2.1.2 Windows 7、 Windows 7 SP1	10
2.1.3 その他のOS	13
2.2 Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5	15
2.3 JRE(Java Runtime Environment) 7 x86 版	17
2.4 Plink Release 0.62	23
3 インストール後の確認	24
3.1 Windows Server 2008、 Windows Server 2008 SP2	24
3.2 Windows Server 2008 R2、 Windows Server 2008 R2 SP1	25
3.3 Windows 7、 Windows 7 SP1	27
3.4 その他のOS	29
4 変更来歴	30

1 Virtage Navigatorのインストール

PC または管理サーバ上に Virtage Navigator をインストールする手順は、以下のとおりです。

- ・ Virtage Navigator 用の zip ファイルを解凍します。
- ・ zip ファイル名と同じ名称のフォルダ、もしくは VirNavi フォルダが生成されます。



- ・解凍された VirNavi フォルダを PC または管理サーバ上の任意のフォルダにコピーしてください。
(解凍した際、zip ファイル名と同じ名称のフォルダが生成された場合、その生成したフォルダ内に含まれる VirNavi フォルダを PC または管理サーバ上の任意のフォルダにコピーしてください。)

なお、VirNavi フォルダのフォルダ構成は、以下のとおりです。

表 1-1 Virtage Navigator フォルダ構成

No.	フォルダ名	備考
1	VirNavi	Virtage Navigator フォルダ
2	AppData	なし
3		Virtage Navigator 実行ファイル(VNavigator.exe)を含むフォルダ
4		なし
5		(Virtage Navigator のバージョンアップ時には、本フォルダは含まれません)
6		FWUpdateFiles
7		HVM
8		BS320
9		BS2000DP
10		BS2000MP

2 前提アプリケーションのインストール

Virtage Navigator を使用するためには、以下の前提アプリケーションをインストールする必要があります。

前提アプリケーションの入手方法は、「Virtage Navigator ユーザーズガイド 導入編」をご覧ください。

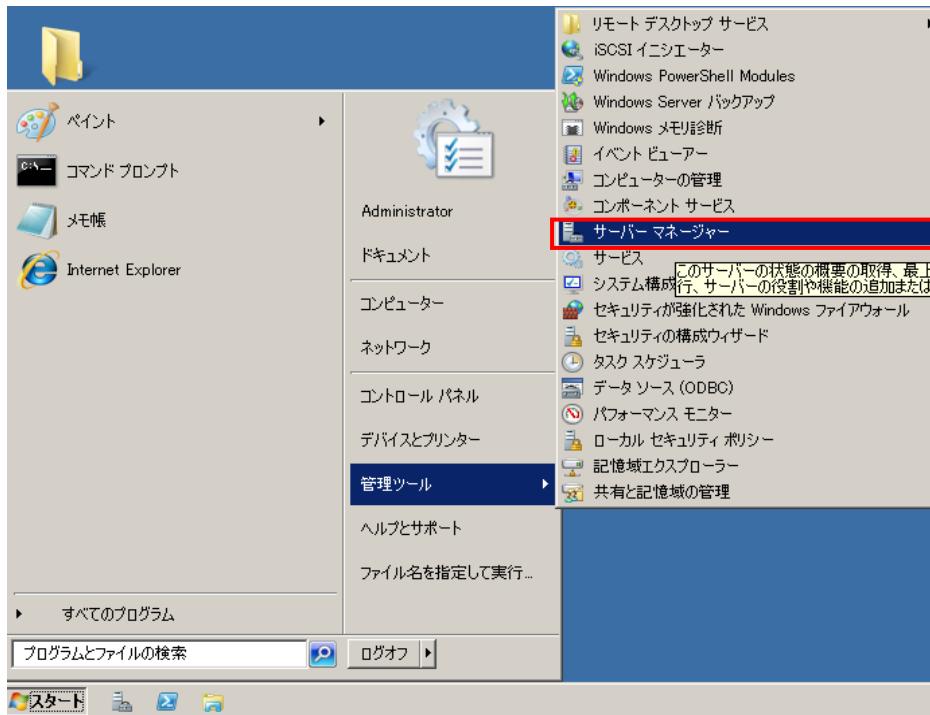
表 2-1 前提アプリケーション一覧

No.	前提アプリケーション	備考
1	Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1	なし
2	Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5	なし
3	JRE(Java Runtime Environment) 7 x86 版	スタンドアロン環境で使用する場合は必要ありません
4	Plink Release 0.62	スタンドアロン環境で使用する場合は必要ありません

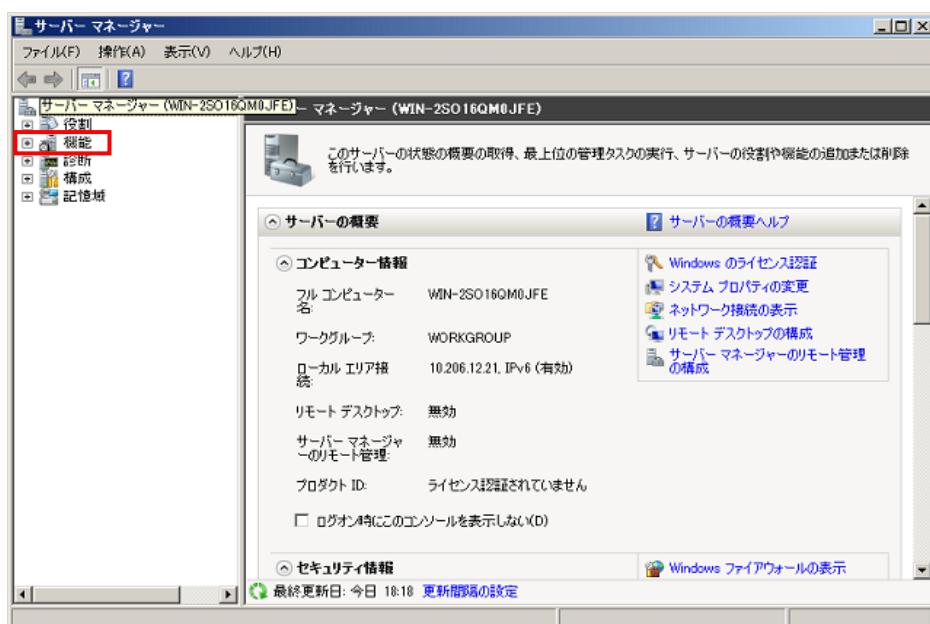
2.1 Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1

2.1.1 Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008 R2 SP1

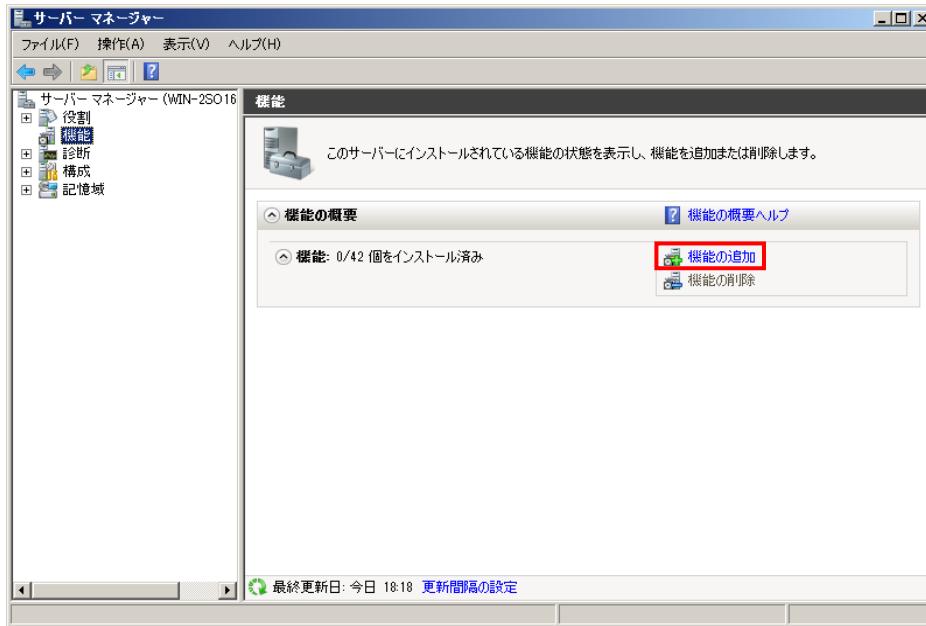
- スタートメニュー → 管理ツール → サーバーマネージャーをクリックします。



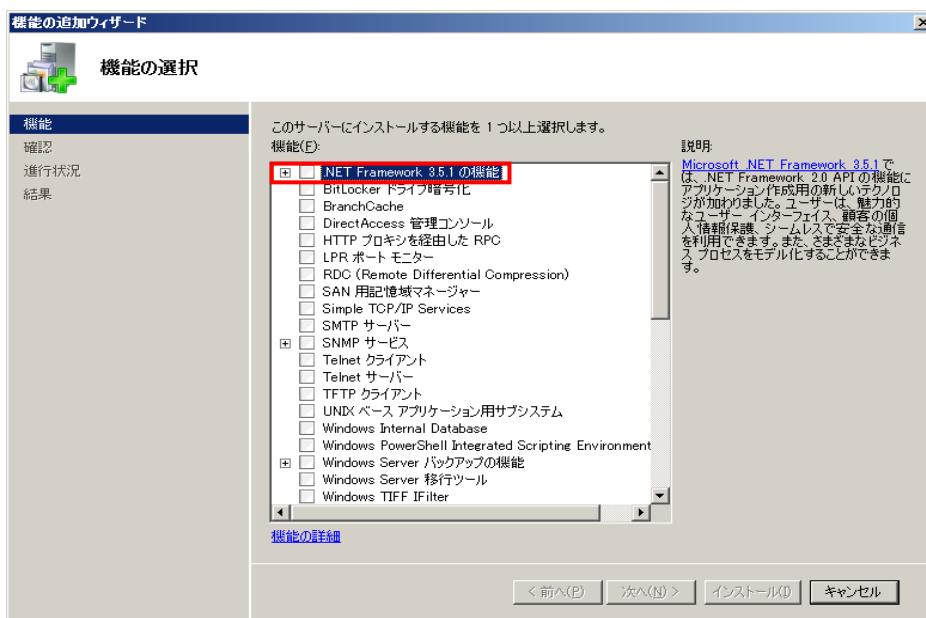
- サーバーマネージャーの左側で機能をクリックします。



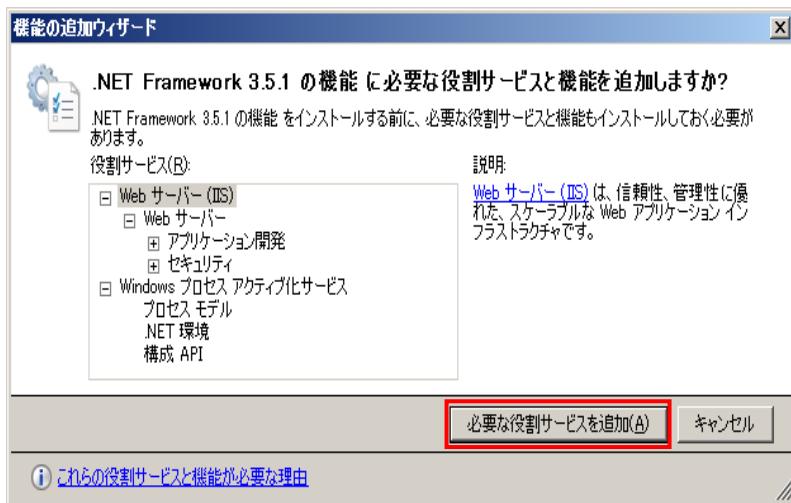
- ・機能の追加をクリックします。



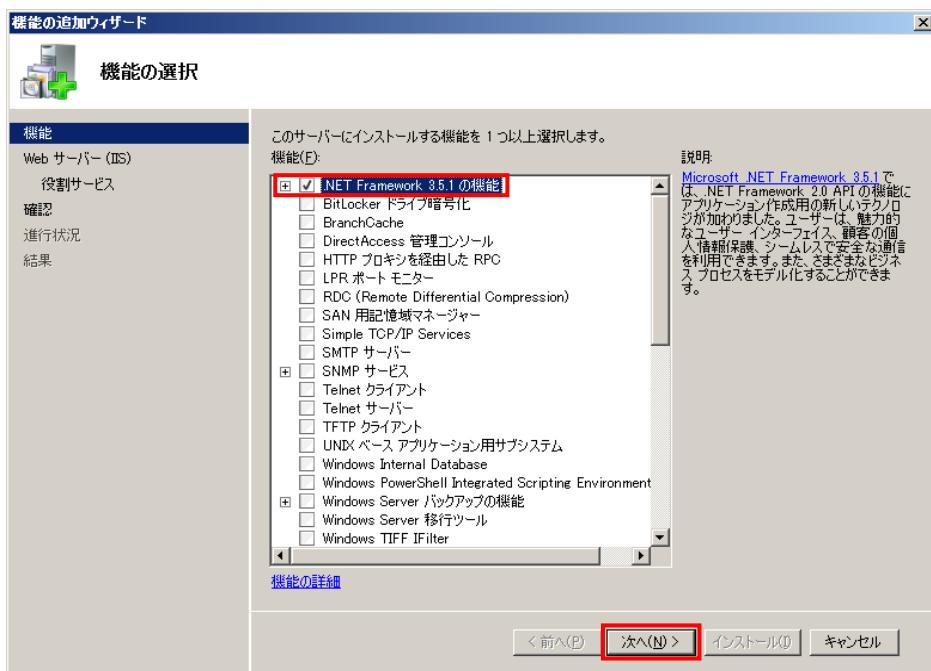
- ・.NET Framework 3.5.1 の機能にチェックをつけます。



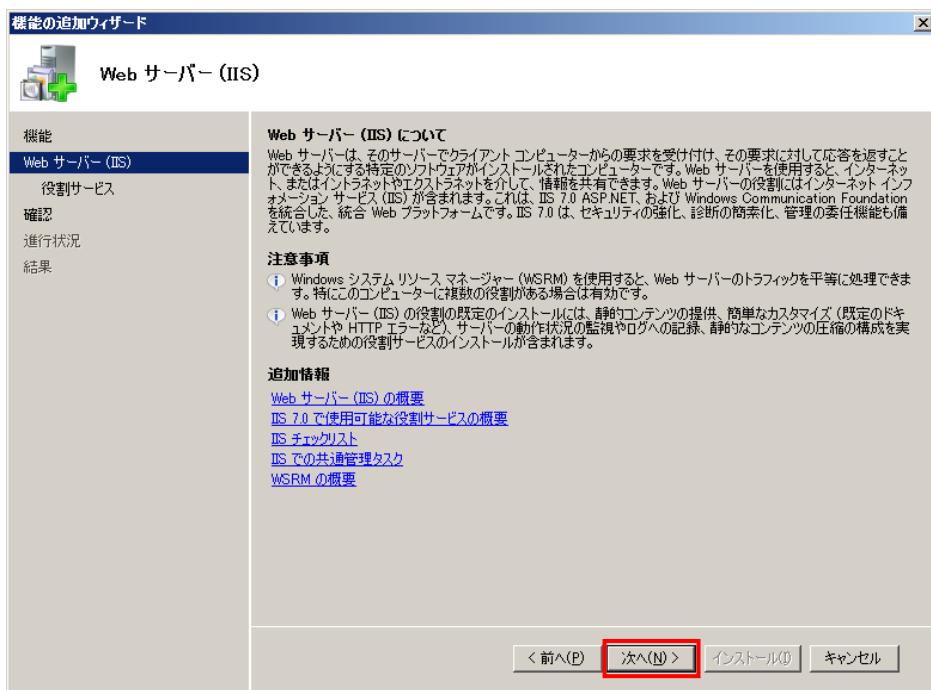
- 必要な役割サービスを追加(A)をクリックします。



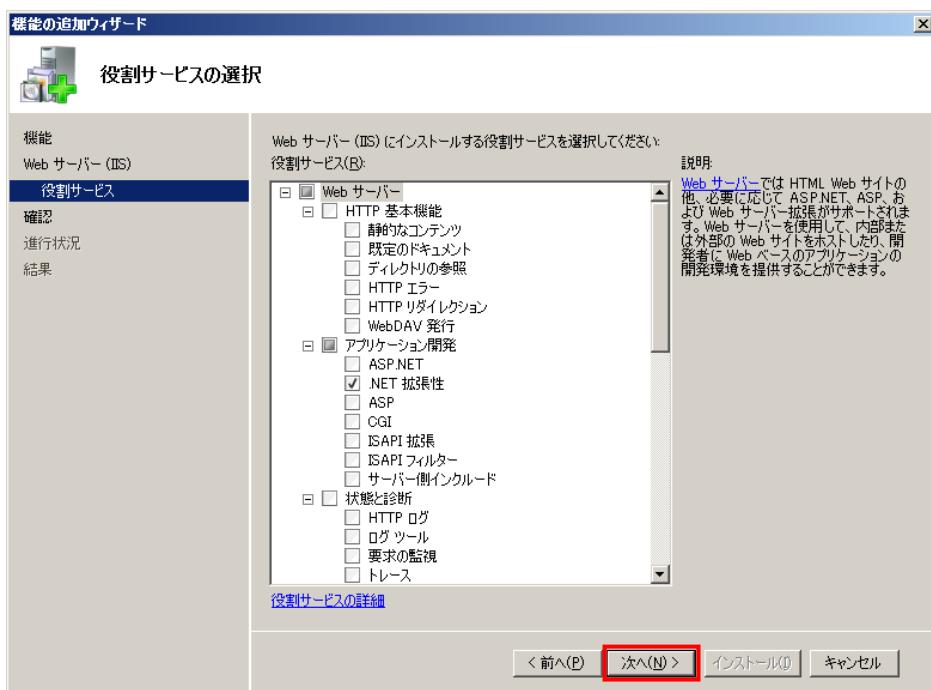
- .NET Framework 3.5.1 の機能にチェックが入ったことを確認し、次へ(N)をクリックします。



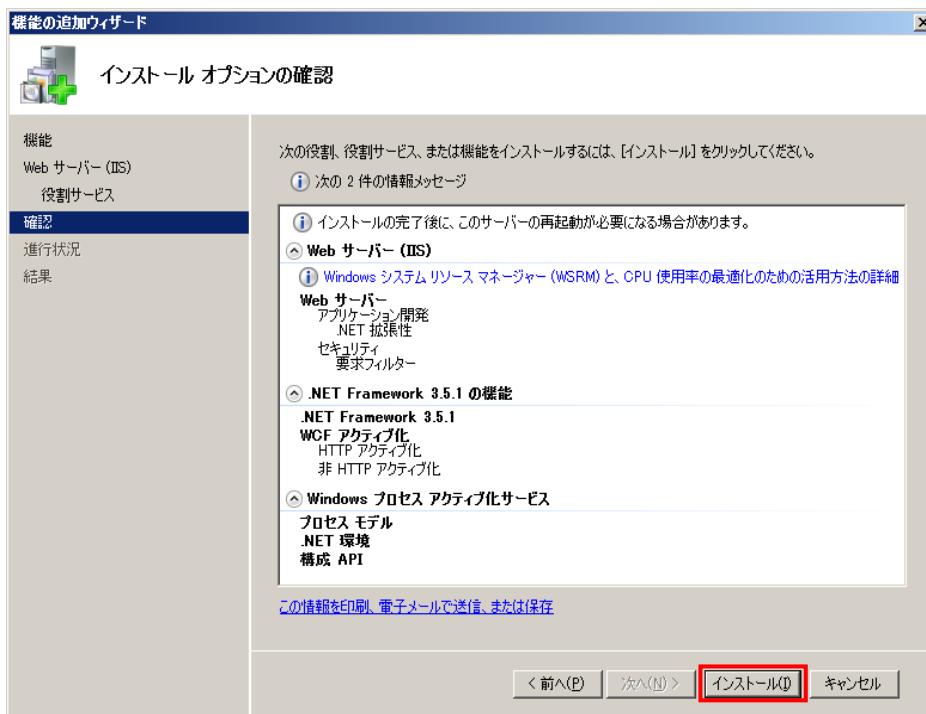
・次へ(N)をクリックします。



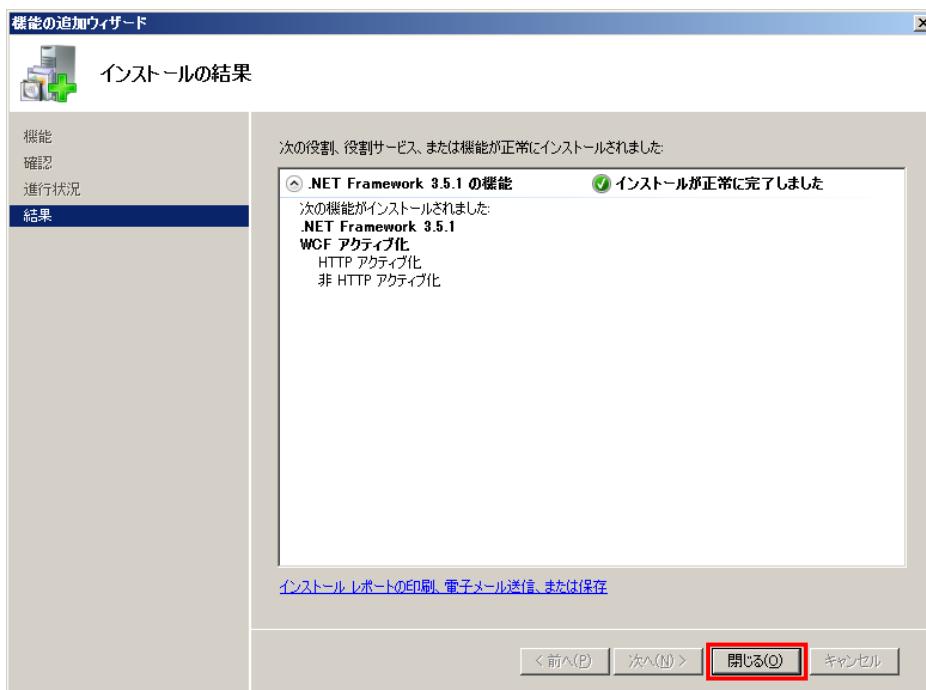
・次へ(N)をクリックします。



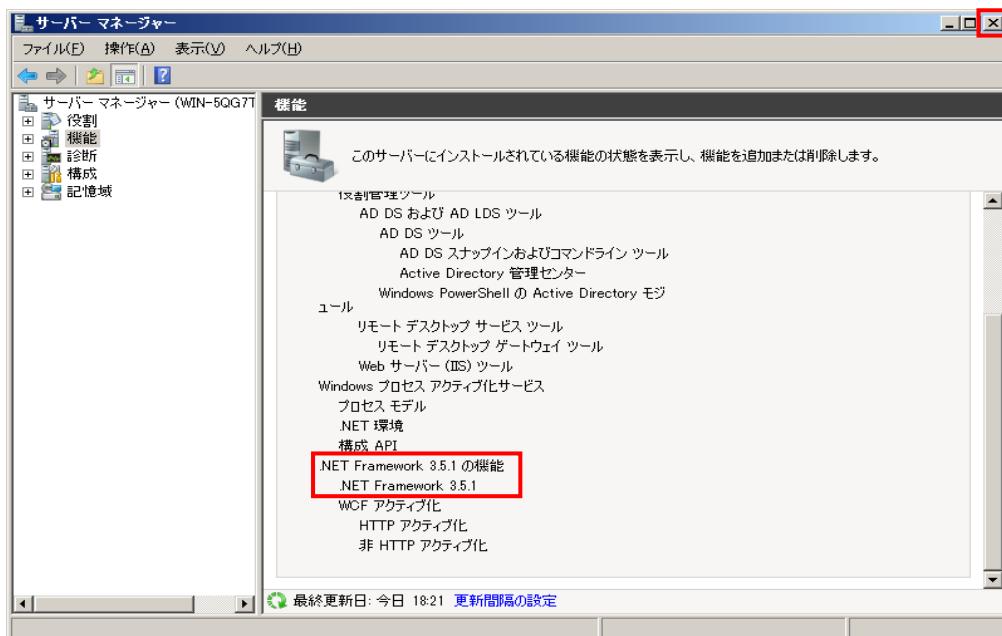
- ・インストール(I)をクリックします。



- ・閉じる(O)をクリックします。

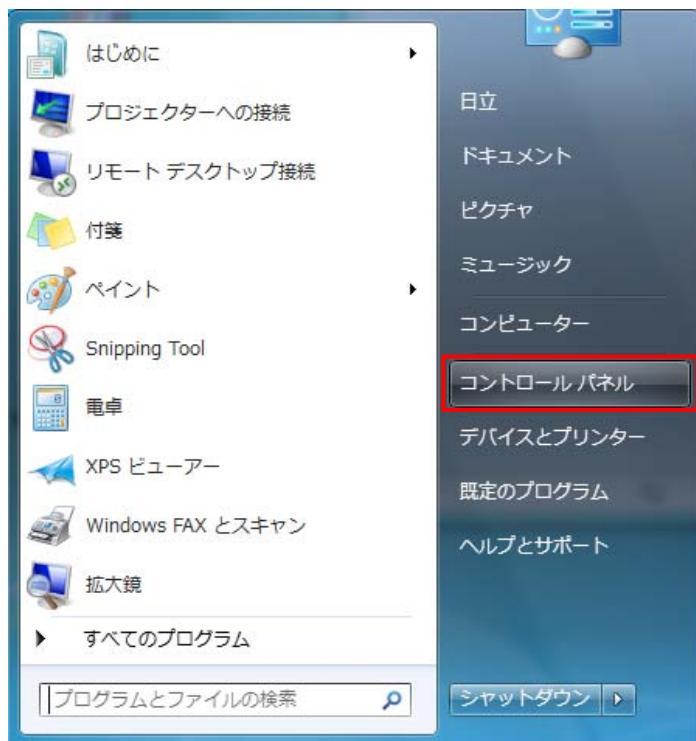


- ・.NET Framework 3.5.1 がインストールされていることを確認し、閉じるアイコンをクリックします。



2.1.2 Windows 7、Windows 7 SP1

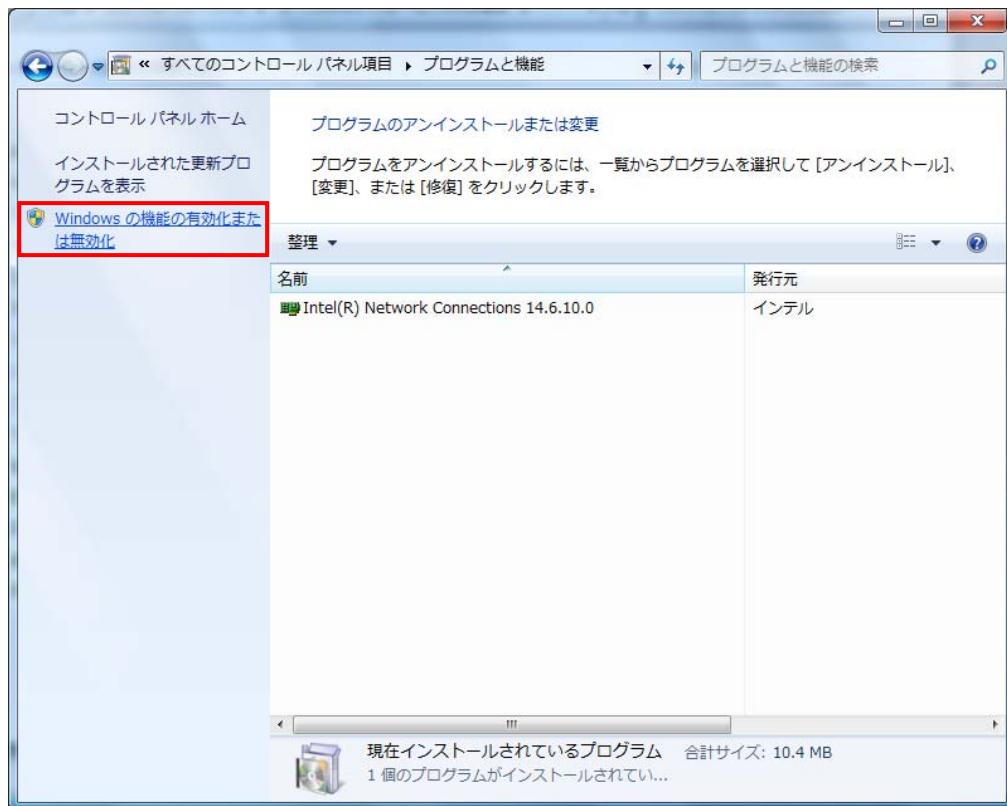
- ・スタートメニュー → コントロールパネルをクリックします。



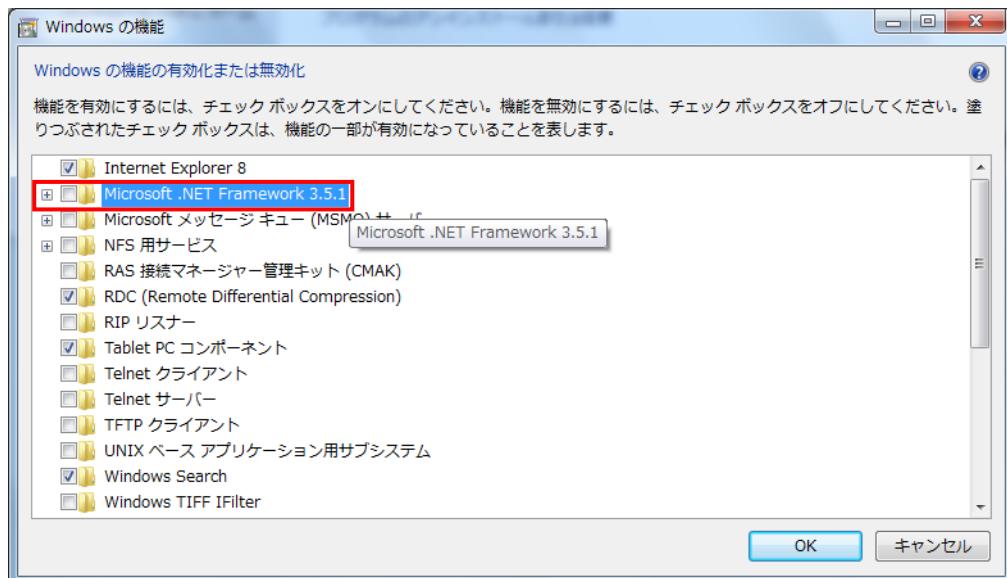
- ・プログラムと機能をクリックします。



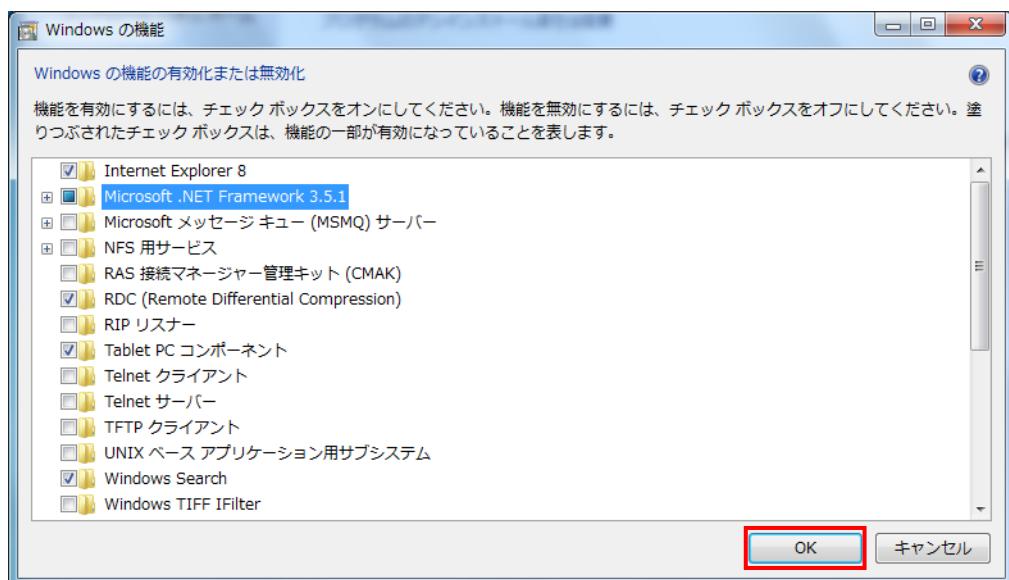
- Windows の機能の有効化または無効化をクリックします。



- Microsoft .NET Framework 3.5.1 のチェックボックスにチェックをつけます。



- OK ボタンをクリックします。



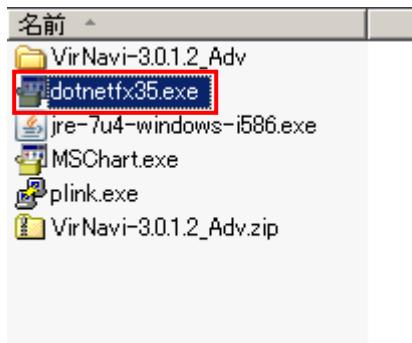
Microsoft .NET Framework 3.5.1 機能の追加中です。

本ウインドウが閉じると、インストールの完了です。



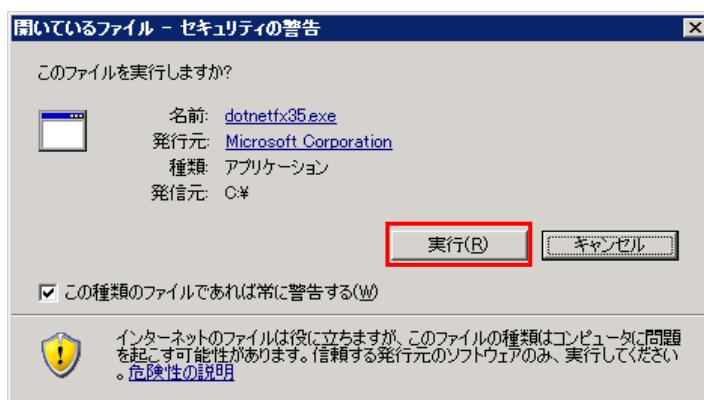
2.1.3 その他のOS

- ・ダウンロードした dotnetfx35.exe(フルパッケージ)を起動してセットアップを開始します。



- ・実行(R)ボタンをクリックします。

(ファイルの解凍が始まります。ファイルが解凍されるまで1~2分かかる可能性があります。)



- ・「同意する(A)」をクリックしてインストールボタン(I)をクリックします。

(インストールが開始されます。インストールが完了されるまで数分かかります。)

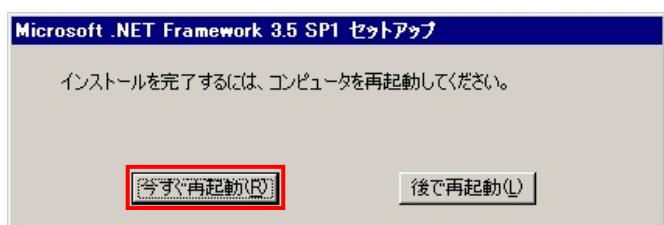


- ・終了(X)ボタンをクリックします。



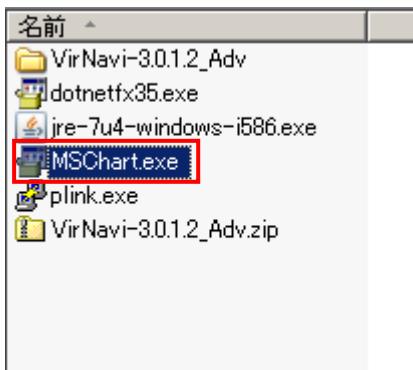
- ・今すぐ再起動(R)ボタンをクリックしてインストールを完了させます。

(お使いのOSバージョンによって表示されない場合があります。)



2.2 Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5

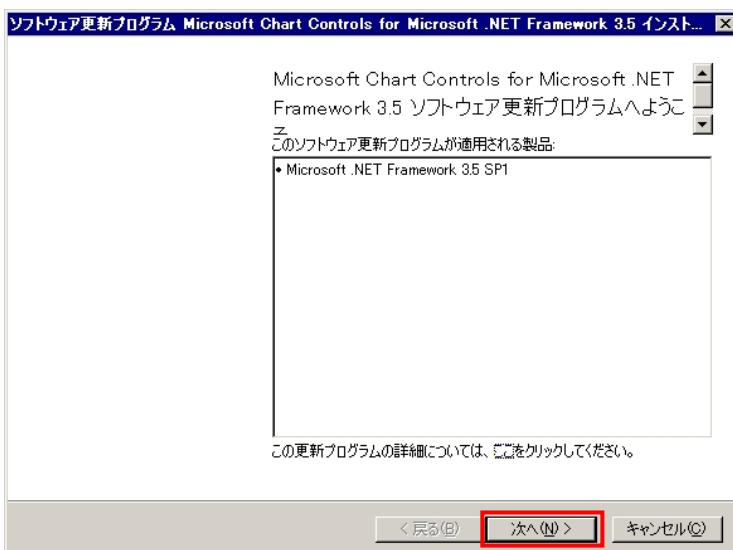
- ・ダウンロードしたセットアップファイル MSChart.exe を起動してセットアップを開始します。



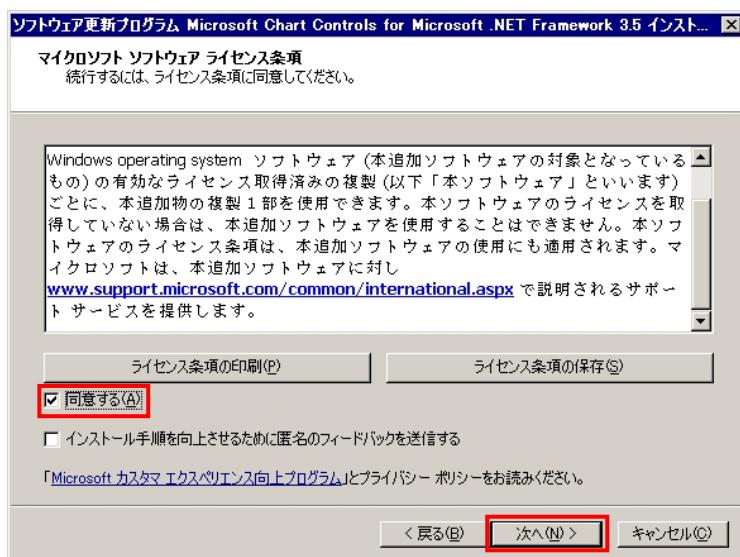
- ・実行(R)ボタンをクリックします。



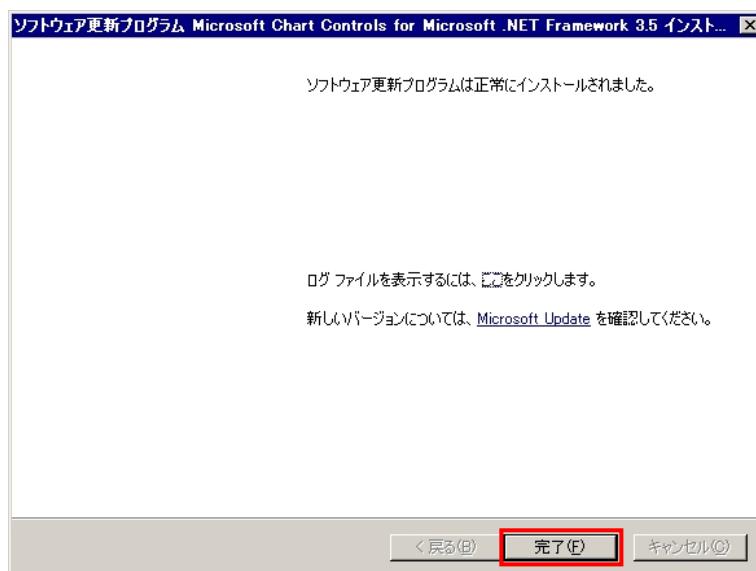
- ・次へ(N)ボタンをクリックします。



- ・「同意する(A)」をクリックして次へ(N)ボタンをクリックします。



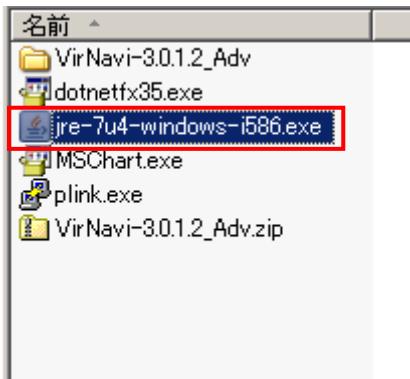
- ・完了(F)ボタンをクリックします。



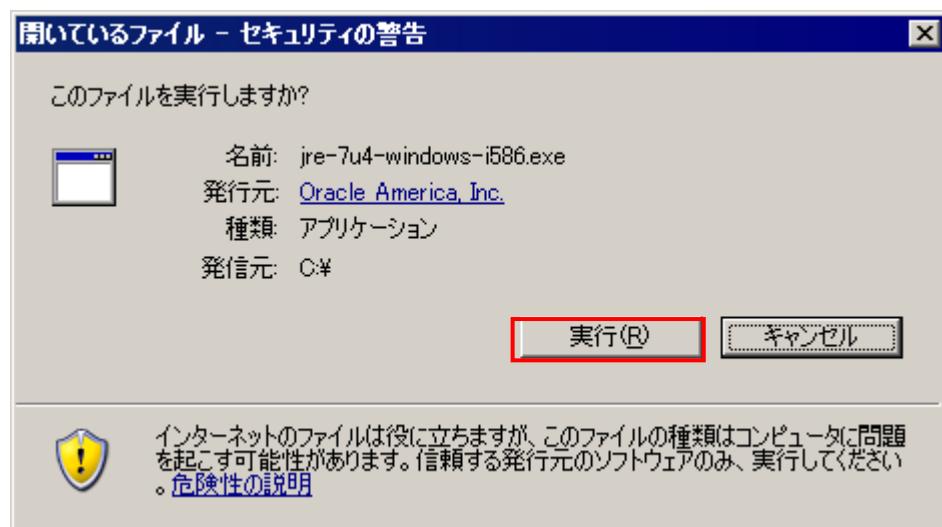
2.3 JRE (Java Runtime Environment) 7 x86 版

ここでは、例として Windows Server 2003 R2 SP2 に JRE 7 バージョン 4 の x86 版をインストールします。

- ・ダウンロードした jre-7u4-windows-i586.exe を起動してセットアップを開始します。



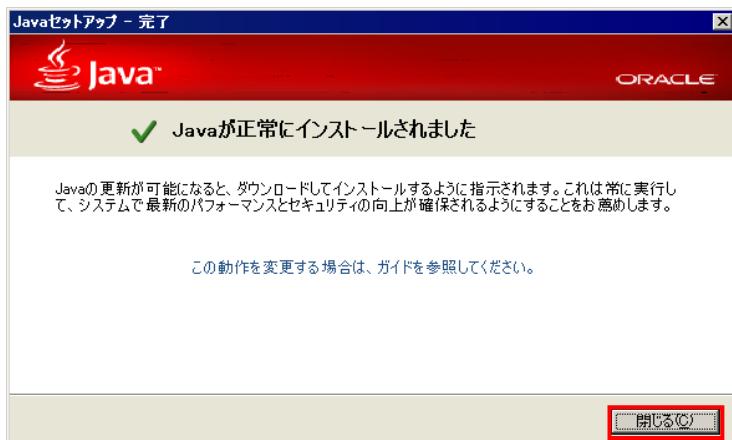
- ・実行(R) ボタンをクリックします。



- ・インストール(I)ボタンをクリックします。
(インストールが開始されます。インストールには数分かかります。)



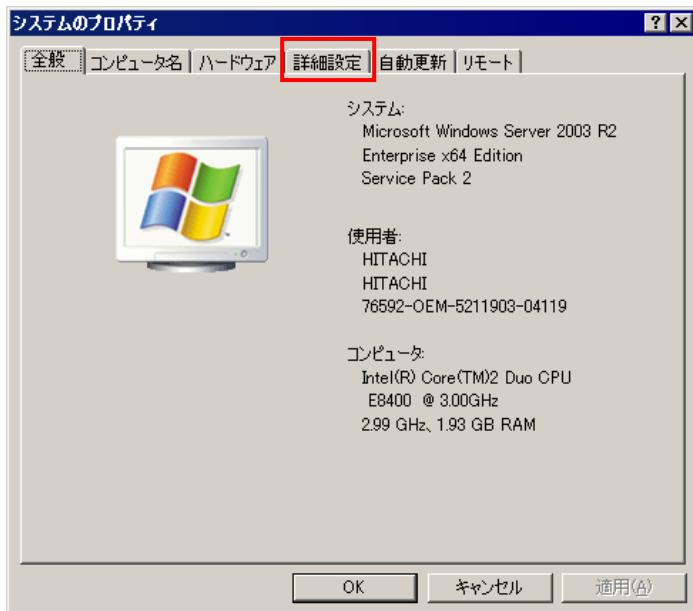
- ・閉じる(C)ボタンをクリックします。



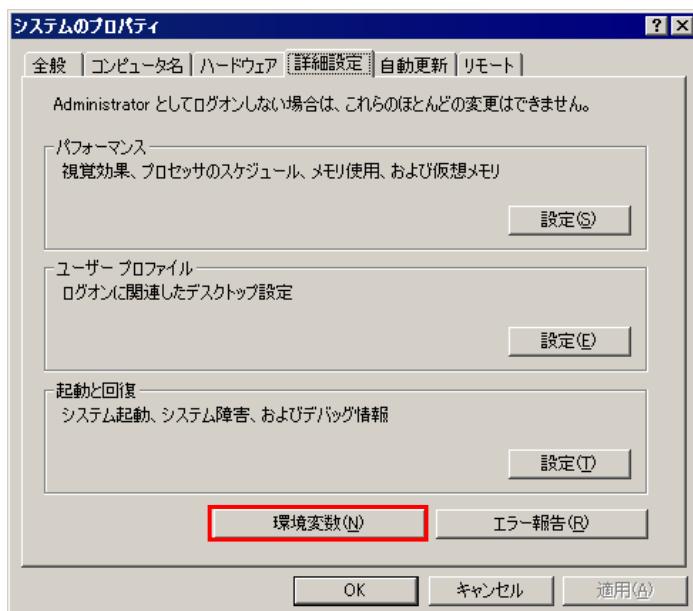
- ・Windows x86 版をご使用の場合は、これで JRE (Java Runtime Environment) 7 x86 版のインストール操作は終了となります。Windows x64 版をご使用の場合は、続けて環境変数の設定を行ってください。

- ・次に環境変数を設定します。

スタートメニュー → コントロールパネル → システムを選択し、詳細設定タブをクリックします。



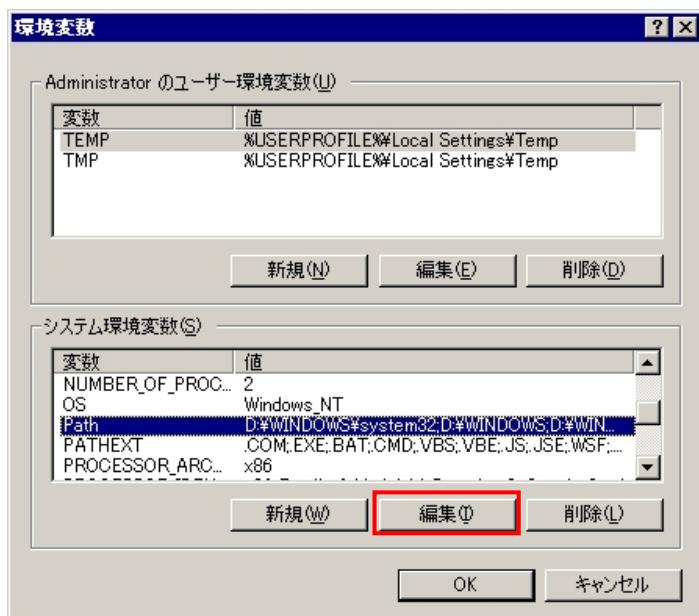
- ・環境変数(N)ボタンをクリックします。



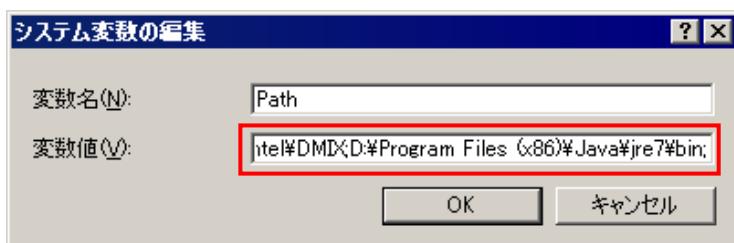
- ・システム環境変数(S)の変数の中からPathをクリックします。



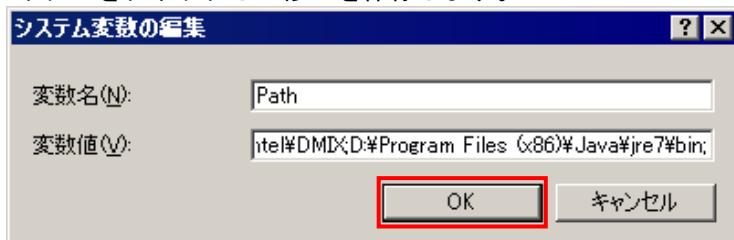
- ・編集(E)ボタンをクリックします。



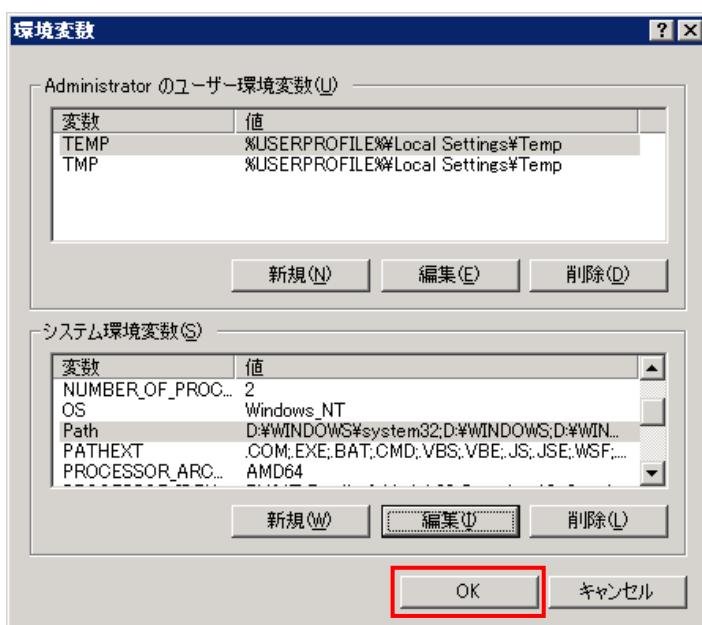
- ・ jre-7u4-windows-i586.exe をインストールした Path を確認します。
- ・ インストールした Path を環境変数に設定します。
- ・ ここでは変数値(V)の最後に、「;D:\Program Files (x86)\Java\jre7\bin」を追加します。



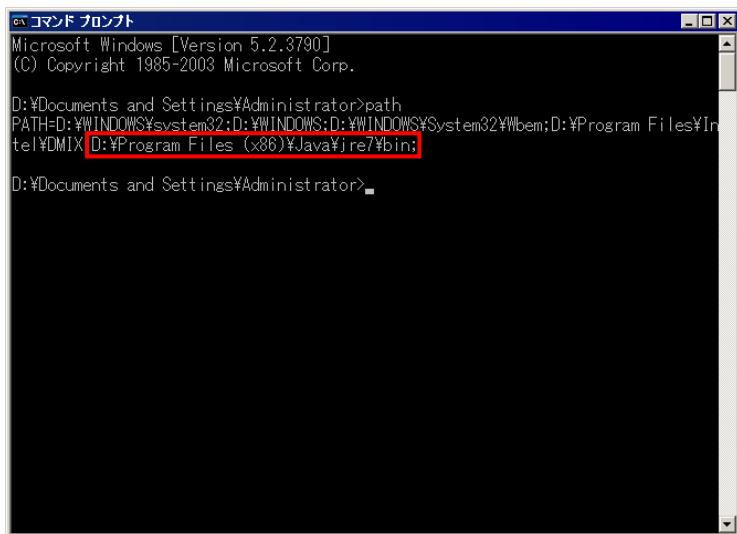
- ・ OK ボタンをクリックして修正を保存します。



- ・ OK ボタンをクリックして修正を保存します。



- ・スタートメニュー → すべてのプログラム → アクセサリ → コマンド プロンプトをクリックします。
- ・path と入力し、環境変数に設定した Path を確認します。



ex コマンド プロンプト

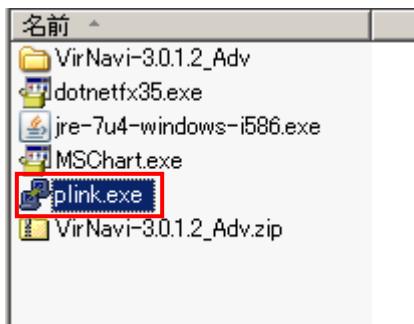
Microsoft Windows [Version 5.2.3790]
(C) Copyright 1985-2003 Microsoft Corp.

```
D:\Documents and Settings\Administrator>path
PATH=D:\WINDOWS\system32;D:\WINDOWS;D:\WINDOWS\System32\WBem;D:\Program Files\Intel\DMIX;D:\Program Files (x86)\Java\jre7\bin;
```

D:\Documents and Settings\Administrator>

The screenshot shows a Windows Command Prompt window titled "ex コマンド プロンプト". The window displays the output of the "path" command. The path variable is set to include several directories: D:\WINDOWS\system32, D:\WINDOWS, D:\WINDOWS\System32\WBem, D:\Program Files\Intel\DMIX, and D:\Program Files (x86)\Java\jre7\bin;. The line "D:\Program Files (x86)\Java\jre7\bin;" is highlighted with a red box.

2.4 Plink Release 0.62



- ・ダウンロードしたアプリケーションファイル `plink.exe` を `VirNage Navigator` インストールフォルダ `\VirNavi\bin` にコピーしてください。

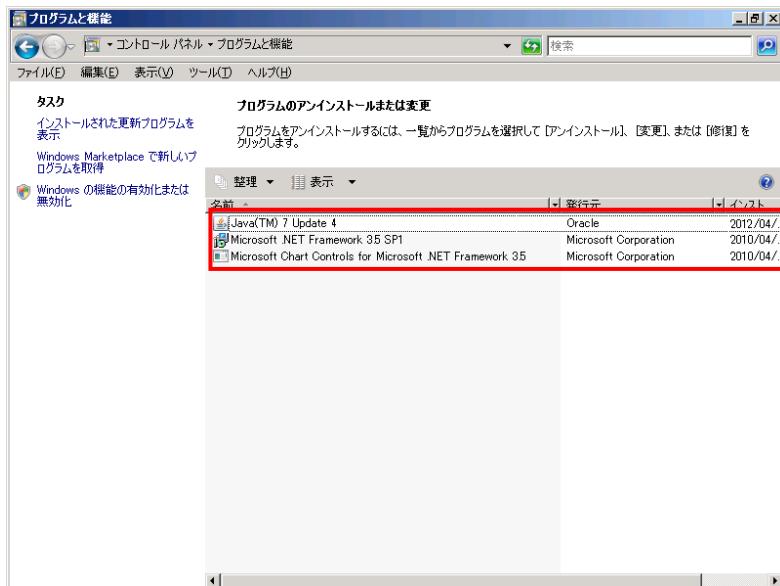
名前	サイズ	種類
VNavigator.exe	1,856 KB	アプリケーション
VirtDII.dll	1,081 KB	アプリケーション拡張
HvmSh.exe	850 KB	アプリケーション
HvmGetPerf.exe	238 KB	アプリケーション
VirtGetLogs.exe	15 KB	アプリケーション
Nevron.Examples.Framework...	61 KB	アプリケーション拡張
Nevron.Examples.Framework...	148 KB	アプリケーション拡張
Nevron.Diagram.WebForm.dll	44 KB	アプリケーション拡張
Nevron.Diagram.WinForms.dll	628 KB	アプリケーション拡張
Nevron.Diagram.Templates.dll	60 KB	アプリケーション拡張
Nevron.Diagram.Shapes.dll	492 KB	アプリケーション拡張
Nevron.Diagram.dll	1,188 KB	アプリケーション拡張
Nevron.Chart.WebForm.dll	44 KB	アプリケーション拡張
Nevron.Chart.WinForms.dll	212 KB	アプリケーション拡張
Nevron.Chart.dll	1,872 KB	アプリケーション拡張
Nevron.GraphicsGL.dll	412 KB	アプリケーション拡張
Nevron.UIWebForm.Controls...	464 KB	アプリケーション拡張
Nevron.UICore.dll	2,008 KB	アプリケーション拡張
Nevron.UICore.Docking.dll	720 KB	アプリケーション拡張
Nevron.Presentation.dll	4,736 KB	アプリケーション拡張
Nevron.System.dll	448 KB	アプリケーション拡張
plink.exe	276 KB	アプリケーション

3 インストール後の確認

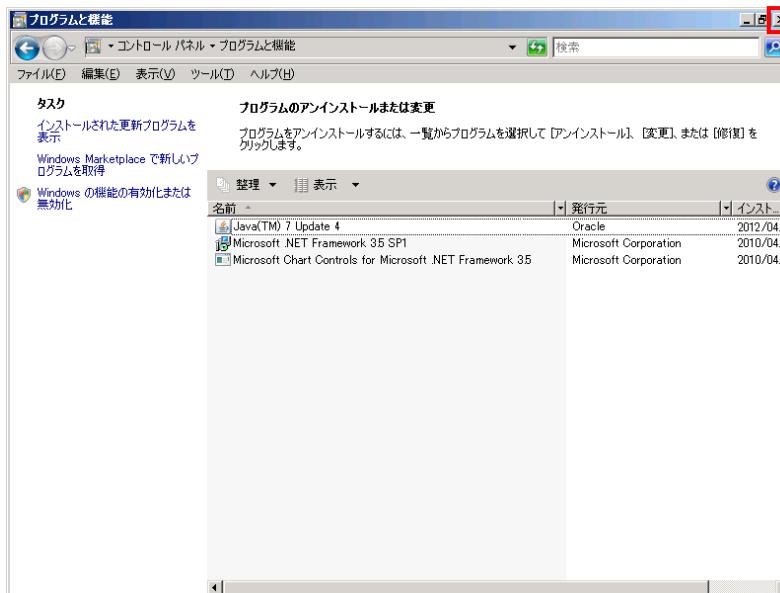
Virtage Navigator と Plink 以外のインストールされたアプリケーションは、以下の手順で確認できます。

3.1 Windows Server 2008、Windows Server 2008 SP2

- ・コントロールパネルのプログラムと機能を開いて Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1、Java がインストールされていることを確認します。

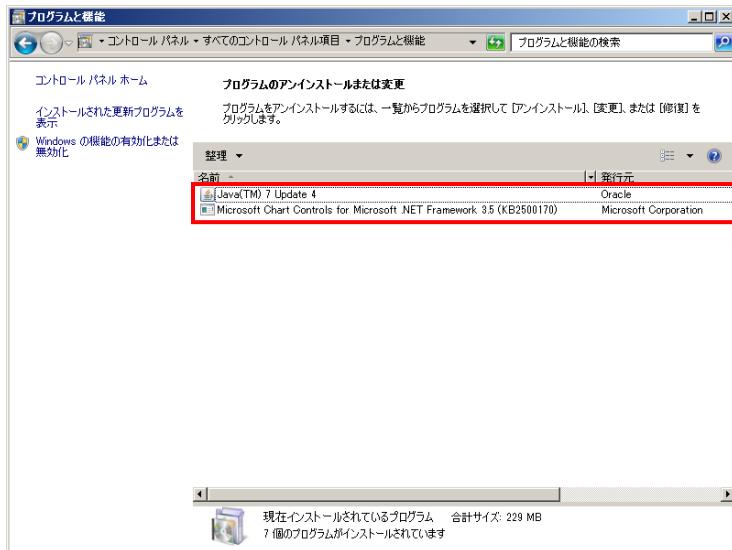


- ・タイトルバーにある閉じるアイコンをクリックして、ウインドウを閉じます。

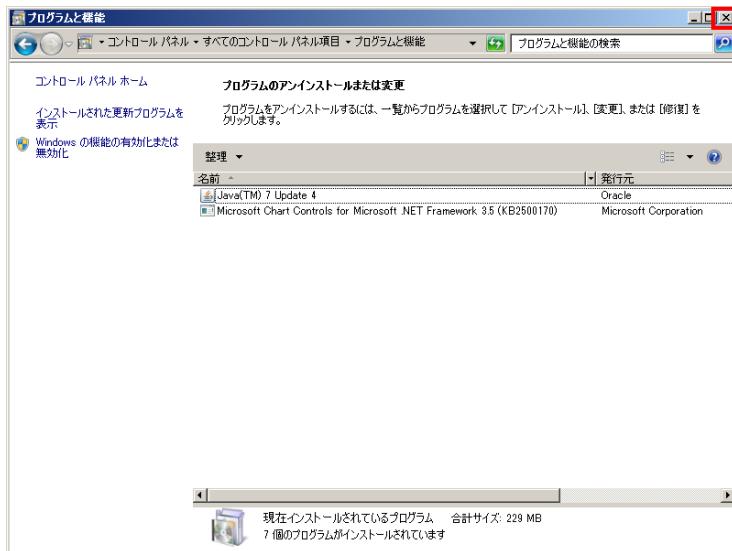


3.2 Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008 R2 SP1

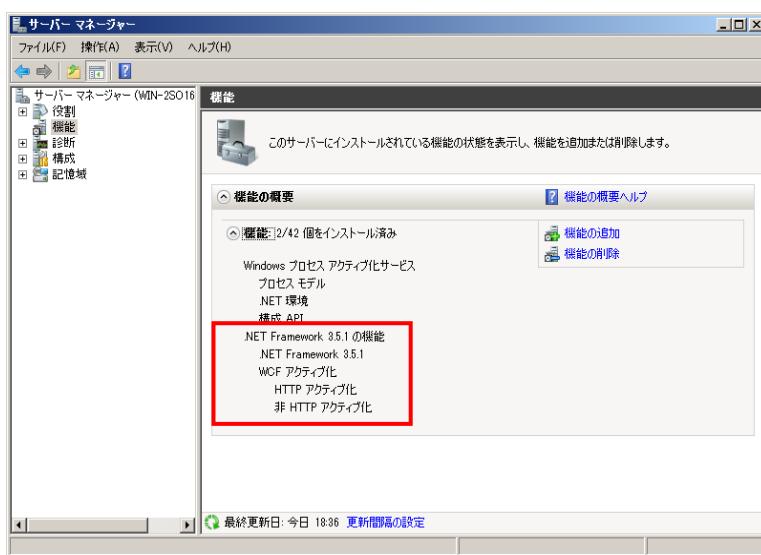
- ・コントロールパネルのプログラムと機能を開いて Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5、Java がインストールされていることを確認します。



- ・タイトルバーにある閉じるアイコンをクリックして、ウインドウを閉じます。



- ・サーバーマネージャーを開き、.NET Framework 3.5.1 の機能が追加されている事を確認します。
(サーバーマネージャーの開き方については、「2.1.1 Windows Server 2008 R2、 Windows Server 2008 R2 SP1」をご参照ください。)

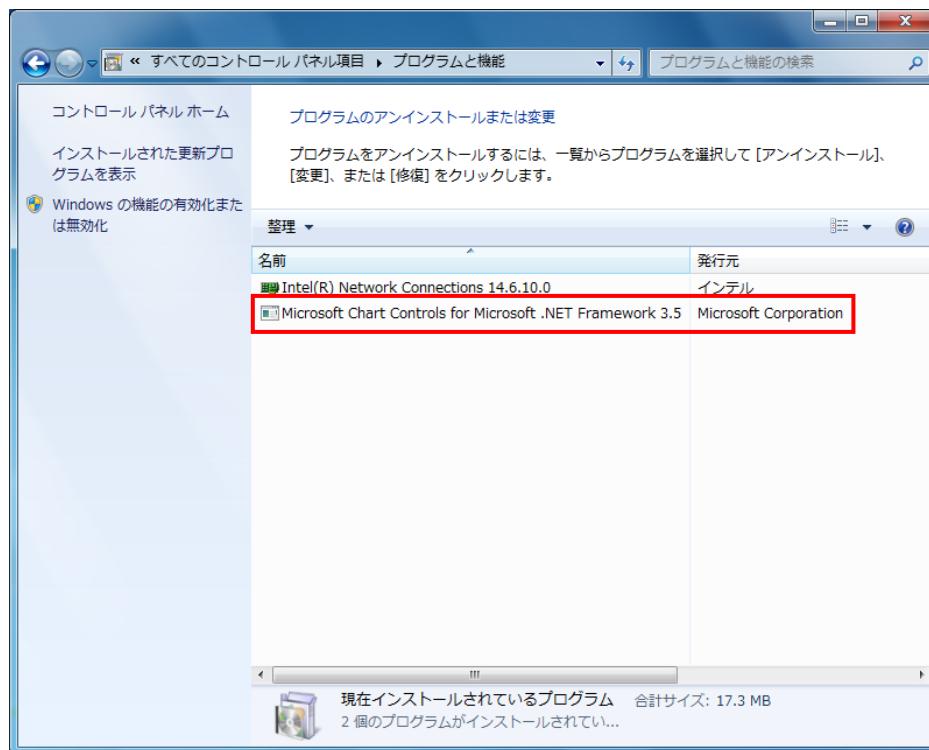


- ・タイトルバーにある閉じるボタンをクリックして、ウインドウを閉じます。

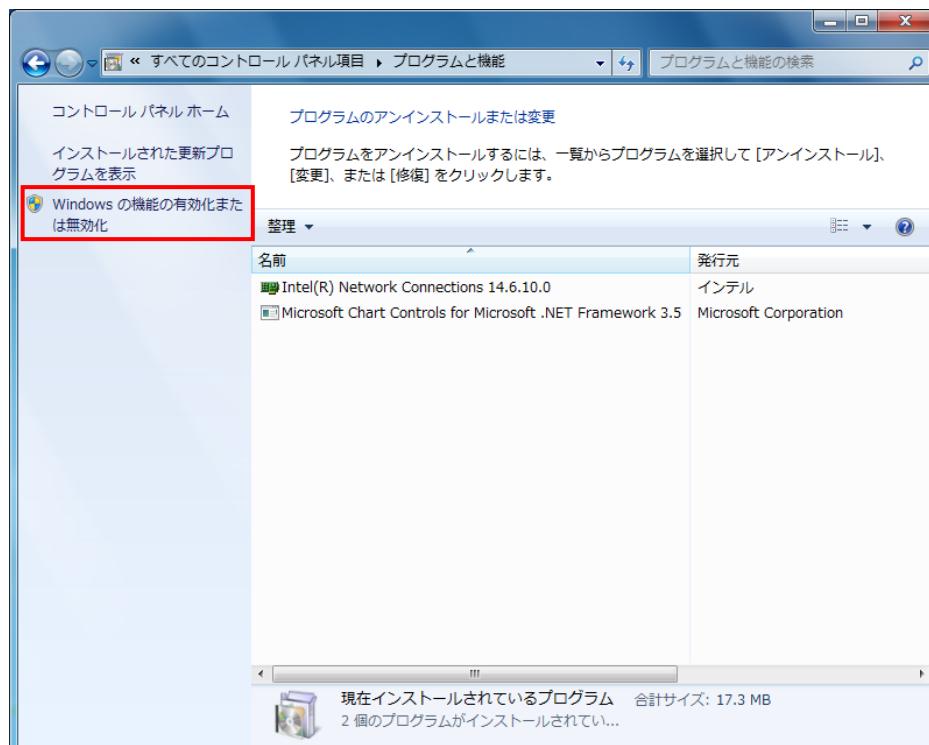


3.3 Windows 7、Windows 7 SP1

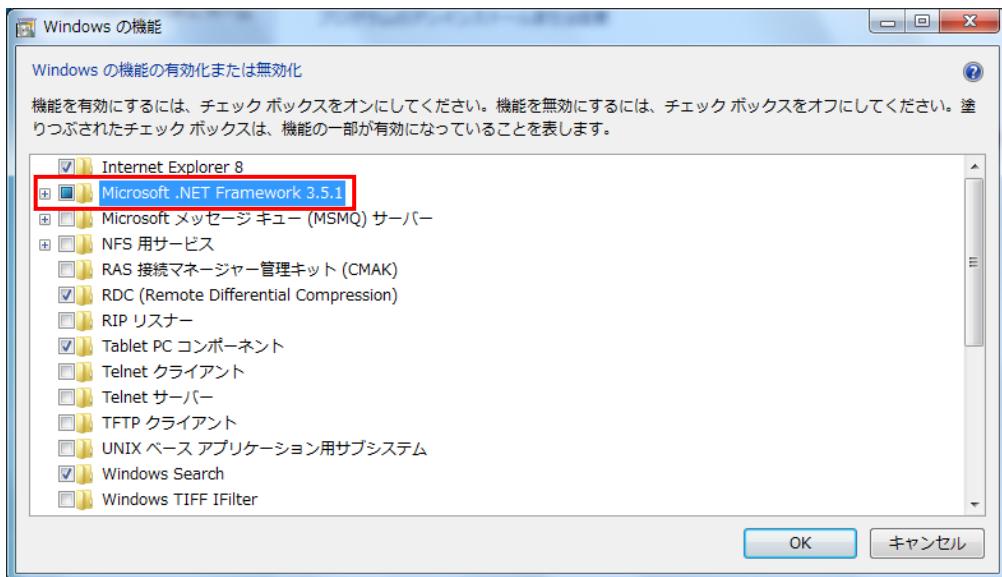
- ・コントロールパネルのプログラムと機能を開いて、Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5 がインストールされていることを確認します。



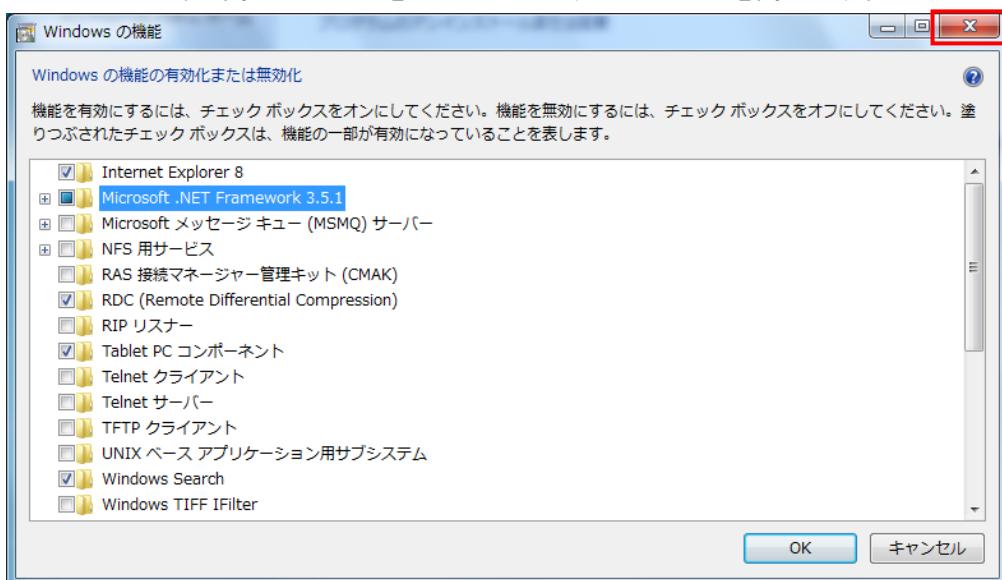
- ・Windows の機能の有効化または無効化をクリックします。



- Microsoft .NET Framework 3.5.1 がインストールされていることを確認します。

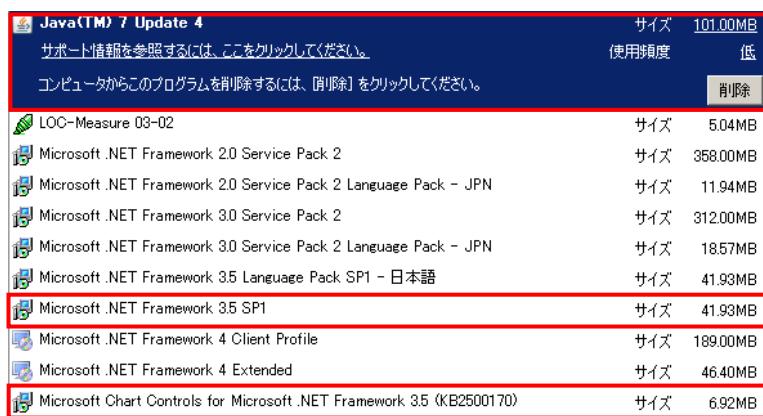


- タイトルバーにある閉じるボタンをクリックして、ウインドウを閉じます。



3.4 その他のOS

- ・(Windows Vistaの場合)
コントロールパネルのプログラムと機能から、Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5、Microsoft .NET Framework 3.5.1、Java がインストールされていることを確認します。
- ・(Windows XP SP3 または Server 2003 R2 SP2 の場合)
コントロールパネルのプログラムの追加と削除から、Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5、Microsoft .NET Framework 3.5.1、Java がインストールされていることを確認します。
- ・ウインドウを閉じてください。削除ボタンをクリックしないようにご注意ください。



4 変更来歴

Virtage Navigator インストール手順書の変更来歴を以下に示します。

表 4-1 Virtage Navigator インストール手順書 変更来歴

Version	Revision	章	変更内容
V01-00	1.01	—	初版
V01-01	1.10	—	Windows Server 2008 SP2 をサポートしました。
V02-00	2.00	—	Windows 7 をサポートしました。
V02-01	2.10	1	「表 1-1 Virtage Navigator フォルダ構成」を変更しました。
V02-02	2.20	2	JRE (Java Runtime Environment) 6 を x86 版に限定しました。
		2.3	<ul style="list-style-type: none">・ JRE (Java Runtime Environment) 6 を x86 版に限定しました。・ 環境変数の設定操作を、Windows x64 版をご使用の場合に限定しました。・ 環境変数に設定する Path を変更しました。
V02-03	2.30	2	インストール対象の前提アプリケーションを "Plink Release 0.60" から "Plink Release 0.60 または Plink Release 0.61" に変更しました。
		2.4	本章のタイトルを "Plink Release 0.60 または Plink Release 0.61" に変更しました。
	2.31	2.1.1	本項の手順の対象 OS を Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008 R2 SP1 と表記し直しました。
		2.1.2	本項の手順の対象 OS を Windows 7、Windows 7 SP1 と表記し直しました。
		3.1	本項の手順の対象 OS を Windows Server 2008、Windows Server 2008 SP2 と表記し直しました。
		3.2	本項の手順の対象 OS を Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008 R2 SP1 と表記し直しました。
		3.3	本項の手順の対象 OS を Windows 7、Windows 7 SP1 と表記し直しました。
		3.4	(Windows XP または Server 2003 の場合) と表記していた箇所を (Windows XP SP3 または Server 2003 R2 SP2 の場合) と修正しました。
V02-04	2.40	2	インストール対象の前提アプリケーションを "Plink Release 0.60 または Plink Release 0.61" から "Plink Release 0.62" に変更しました。
		2.4	本章のタイトルを "Plink Release 0.62" に変更しました。
V03-00/A	3.01	2	「表 2-1 前提アプリケーション一覧」で JRE (Java Runtime Environment) 7 に変更しました。
		2.3	JRE (Java Runtime Environment) 7 に変更しました。
		3.1	確認するアプリケーションを追記しました。
		3.2	
		3.4	
		3.3	画面を閉じる操作を追記しました。